

1 年次 総合「国際理解教育 藤本正樹さん講演会」報告

7月8日（水）、1年次総合的な探究の時間の授業において、藤本正樹さんによる国際理解教育講演会を実施しました。世界 100 ヶ国以上を訪問してきた藤本さんのリアルなお話は、グローバル社会の中でどう生きるかについて考えさせられる内容でした。質疑応答の時間も、生徒から様々な質問が出され、生徒にとって気づきと学びの時間となりました。



生徒の感想（抜粋）

- ・世界のことについて詳しく知りたいと思いました。ゴミ問題や戦争について、詳しく知りたいと思いました。
- ・言語が伝わなくても、楽しく接しあえることができる。言語が伝われば、より楽しくなる
- ・スーダンやミャンマーのイメージが悪いと思っていても、いってみれば全然どの国も同じなのだなと思いました。"
- ・ニュースとかだけでその国を見ていて、字で読んだり聞いたりするより、その場に行って現地の人々との交流が大切なのだとわかり、自分も一つのことに囚われないようにしようと思った
- ・自分の考えや思いが講師の先生のお話によって違う視点から見たものになった。
- ・私たち日本人はその国の言語を完璧に話さなければという、硬い考えを持ってしまいがちが多い。
でも実際は自分の気持ちや伝えたい思いがはっきりしていれば、どうにかやっていけるということが分かった。
- ・テレビなどで見るような発展している国が多い訳ではなく、とても貧困などに苦しんでいる国が多くあること。偏見や先入観を捨てること、1番大切なのは笑顔と明るさ、コトバだけのグローバル人間にはなってはいけない。勝手なイメージを付けず、ちゃんと知ってから考えること。
- ・英語などの言葉だけを知っていても、優しさがなければ世界でも意味がないし、言葉以外にも気持ちを伝えるツールは多くあり、人を思いやる心を大切にしようと思った。
- ・国に対するネガティブなイメージが変わり、もっと広い視点を持つことが大事だと思った。
- ・世界とのコミュニケーションは気持ちがあれば言語の壁をまたいで心と心を通じ合うことがわかりました。日本とは違って日々ゴミが周りにあつての生活や立派な家などが建っていない人が住んでいて自分が普段生活していることはとっても運がよかったと思いました。そして今自分の周りにいる人や日本という国に誇りを持ち自分に少し自信がついたような気がしてプラスに考えられるように少しなった気がしました。黒人や白人、アジア系など人種があるけど結局人間という大きな共通があるから差別はしてはいけないと思いました。各国の人も優しさがあることがわかり自分も誰でも優しくしていきたいと思いました。
- ・今まで当たり前だと思っていた自分の過ごしている環境が世界という単位でみると恵まれた環境だということを知ることができた